

■ 本文

大殿（おほと）には、かやうの御歩（あり）きもをさをさし給は〔①〕ぬに、御心地（ここち）さへ悩ましければ、思しかけざり〔②〕けるを、若き人々、「いでや、一人々々（ひとりひとり）して見給は〔③〕むこそ、はえなからめ」など言ひて、出で立ち給ふ。

日たけゆきて、儀式もわざとならぬさまにて出で給へり。隙（ひま）もなう立ちわたりたるに、よき女房車（にようぼうぐるま）多くて、雑々（ざふざふ）の人なき隙を思ひ定めて、皆さし退（の）けさする中に、網代（あじろ）のすこしなれたるが、下簾（したすだれ）のさまなどよしばめるに、いたう引き入りて、ほのかなる袖口・裳（も）の裾・汗衫（かざみ）など、物の色いと清らにて、ことさらにやつれたるけはひしるく見ゆる車、二つあり。

「これは、さらに、さやうにさし退け〔④〕などすべき御車にもあらず」と、口強（くちこは）くて、手触れさせず。

……つひに御車ども立て続けつれば、副車（ひとだまひ）の奥に押しやられて、物も見えず〔⑤〕。

心やましきをばさるものにて、かかるやつれをそれと知られぬるが、いみじうねたきこと、限りなし〔⑥〕。

■ 設問（全22問）

- 傍線部①・③の「給は」、および「出で立ち給ふ」の「給ふ」は、それぞれ誰から誰への敬意を表す敬語か。種類（尊敬・謙譲・丁寧）も答えなさい。
- 傍線部②「ざり」は、文法的に何の何形か。終止形（基本形）も答えなさい。
- 若き人々の言葉「いでや、一人々々して見給はむこそ、はえなからめ」を、内容がよく分かるように現代語訳しなさい。
- 「立ちわたりたるに」「立て続けつれば」の二つの「立て（立ち）」のうち、完了の助動詞「つ」が用いられているのはどちらか。指摘し、その活用形も答えなさい。
- 「ことさらにやつれたるけはひしるく見ゆる車、二つあり」とあるが、この車に乗っていたのは誰か。なぜ「やつれ（目立たぬよう質素にする）」た様子で来ていたのかも含めて答えなさい。
- 「これは、さらに、さやうにさし退けなどすべき御車にもあらず」を、誰の言葉かを意識して現代語訳しなさい。
- 「これは、さらに……御車にもあらず」と強気に言い張っているのは、どちら側の人々か。本文の語「口強くて」を手がかりに答えなさい。
- 傍線部④「さし退け」の「さし」の意味・はたらきとして最も適当なものを、次から一つ選びなさい。
ア 「指し示す」という意味の動詞 イ 軽く・ちょっと、の意を添える接頭語 ウ 使役の助動詞 エ 「差し上げる」という謙譲の意
- 「副車」「汗衫」「下簾」の読みを、それぞれ現代かなづかいで答えなさい。
- 傍線部⑤「副車の奥に押しやられて、物も見えず」を、主語を補って現代語訳しなさい。

11. 傍線部⑤「押しやられて」の「られ」は、文法的に何の何形か。意味（受身・尊敬・自発・可能）も答えなさい。
12. 御息所が「心やましきをばさるものにて」と述べていることから、御息所にとって「行列が見えないこと」と「正体を知られたこと」のどちらがより深い痛手だったと読み取れるか。理由とともに説明しなさい。
13. 傍線部⑥「心やましきをばさるものにて、かかるやつれをそれと知られぬるが、いみじうねたきこと、限りなし」を現代語訳しなさい。
14. 傍線部⑥について、六条御息所はどのような点を「いみじうねたきこと」と感じているのか。屈辱の内容を本文に即して説明しなさい。
15. 本文冒頭「大殿には、かやうの御歩きもをさをさし給はぬに」を現代語訳しなさい。（「をさをさ……ぬ」の意味に注意）
16. 「皆さし退けさする」の「さする」は、文法的に何の何形か。意味も答えなさい。
17. 「見給はむこそ、はえなからめ」の「む」「め」について、それぞれ何の助動詞か、また係り結びの関係を説明しなさい。
18. 葵の上が、ふだんはあまりしないこのような見物に出かけることになった、直接のきっかけ（理由）を本文に即して二つ挙げなさい。
19. この場面で受けた屈辱は、のちの物語でどのような出来事につながっていくか。葵の上と六条御息所の関係をふまえ、簡潔に説明しなさい。
20. 次の語の本文中での意味を答えなさい。
(1) をさをさ（し給はぬ） (2) よしばめる (3) ねたき (4) やつれ
21. 【文学史】『源氏物語』について、次の問いに答えなさい。
(1) 作者名を漢字で答えなさい。
(2) 成立した時代を、次から一つ選びなさい。ア 奈良時代 イ 平安時代 ウ 鎌倉時代 エ 室町時代
(3) 『源氏物語』は、伝説や空想をもとにした「() 物語」と、和歌を中心に説明を加えた「歌物語」とに大きく分けられる物語文学のうち、前者の系譜を大成した作品である。空欄に入る語を答えなさい。
22. 【文学史】『源氏物語』の主人公「光源氏」の正妻で、この「車争ひ」の当事者となり、のちに物の怪に苦しめられて世を去る女性は誰か。その名を答えなさい。